

みはら再発見 わたしのまちのふるさと大使

市の情報発信や産業・観光などの振興のため、市にゆかりのある15人と1組に「三原市ふるさと大使」を委嘱しています。

最終ページでは、三原市ふるさと大使の皆さんの三原の好きなおところや思い出などを紹介します。

観光課 ☎0848・67・6015

平成31(2019)年2月号
第167号 毎月1日発行
編集・発行 / 三原市秘書広報課

〒723-8601 広島県三原市港町三丁目5番1号
秘書広報課 ☎0848・67・6007
市ホームページ <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/>

再生紙と大豆インクを使用しています。
点字版や録音テープ・CDも発行しています。問い合わせは秘書広報課へ。

—三原市での思い出を教えてください。
「新藤兼人監督が三原の小学校を舞台に『らくがき黒板』という映画を作り、その翌年だったかな、『裸の島』を撮りました。三原ではすぐに公開され、みんなで観に行きました。セリフがなく子どもにとってはそれほど面白くもないものではなかったけど、モスクワ映画祭でグランプリを獲得。新藤さんは世界に名をはせました。大学生の頃、映画好きの仲間に『小学生の時、完成直後に観た』と自慢したものです。

—将来、どんなまちになってほしいですか。
「人に優しいまちであり続けてほしい。昨年夏の豪雨で痛感しましたが、強靱さ、たくましさ兼ね備えてほしいとも思います」
—今後の抱負を教えてください。
「三原の良さをあちらこちら



テレビ大阪株式会社顧問・
近畿広島県人会会長
立岩 文夫 さん

三原市出身。広島大学附属三原幼稚園・小学校を経て、同中学校に進学。3年生の時に東京へ転出。早稲田大学を卒業後、株式会社日本経済新聞社に入社。平成16年、テレビ大阪株式会社に入社。代表取締役社長・会長を歴任し、現在は同社の顧問を務める。昨年秋に旭日小綬章を受章された。

三原 優しく 逞しく

(立岩文夫さんの直筆メッセージ)



に伝えていければ。PRのお役に立ちたいと願っています」



私の好きな風景

大きなだるまが飾られた「神明さん」。たかさんの店が並ぶ東町。混雑がうれしかった。

あ・と・が・き

南アフリカ共和国の元大統領、ネルソン・マンデラの言葉「生きるうえで最も偉大な栄光は決して転ばないことにあ

るのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある」この言葉を聞いてすぐ思い浮かんだのはだるまでした。七転び八起きのだるまはまさに偉大な栄光の象徴▼誰だって人生山あり谷あり。私もだるまのように何度転んでも起き上がる強さを持ち続けたいです(Y)

三原市の人口 (12月31日現在)

※外国人住民を含む。
※()内は前年同月との比較。

世帯数	43,687 世帯 (-137)
人口	94,347 人 (-1,323)
男	45,221 人 (-573)
女	49,126 人 (-750)

人口移動の詳細については
広島県 人口移動 月報 で
検索

税などの納期 (普通徴収)

- 固定資産税・都市計画税(第4期)
 - 国民健康保険税(第8期)
 - 介護保険料(第8期)
 - 後期高齢者医療保険料(第8期)
- 納期限 28日(木)まで
夜間収納窓口(19時まで)
毎週木曜日

航空機の騒音測定結果(12月分)(Lden)

- ▶正広局(本郷町善入寺正広)=51.8
- ▶本郷局(本郷町船木川西上)=53.4